

わたしたちのまちの予算

令和4年度当初予算は、『未来越前町へ希望を紡ぐ予算』

令和4年度は、第二次越前町総合振興計画の後期計画の2年目となります。これまでの成果を見据えて、計画の目標達成に向け、着実に取組を推進していきます。

更には、町民ニーズに沿った新たな目標と課題にも目を向け、課題解決のために、積極的に施策に取り組みことが求められています。

このため、令和4年度当初予算を、

「未来越前町へ希望を紡ぐ予算」

として編成しています。町民が「ふるさと越前町」に誇りと愛着を持ち、誰もが住み続けたいと思える、人にやさしく地域にやさしいまちの実現に向け、魅力あるまちづくりを堅実に推進させる予算としています。

予算規模

令和4年度当初予算額は、一般会計、特別会計、事業会計を合わせ188億7,105万5千円で、前年度より9,892

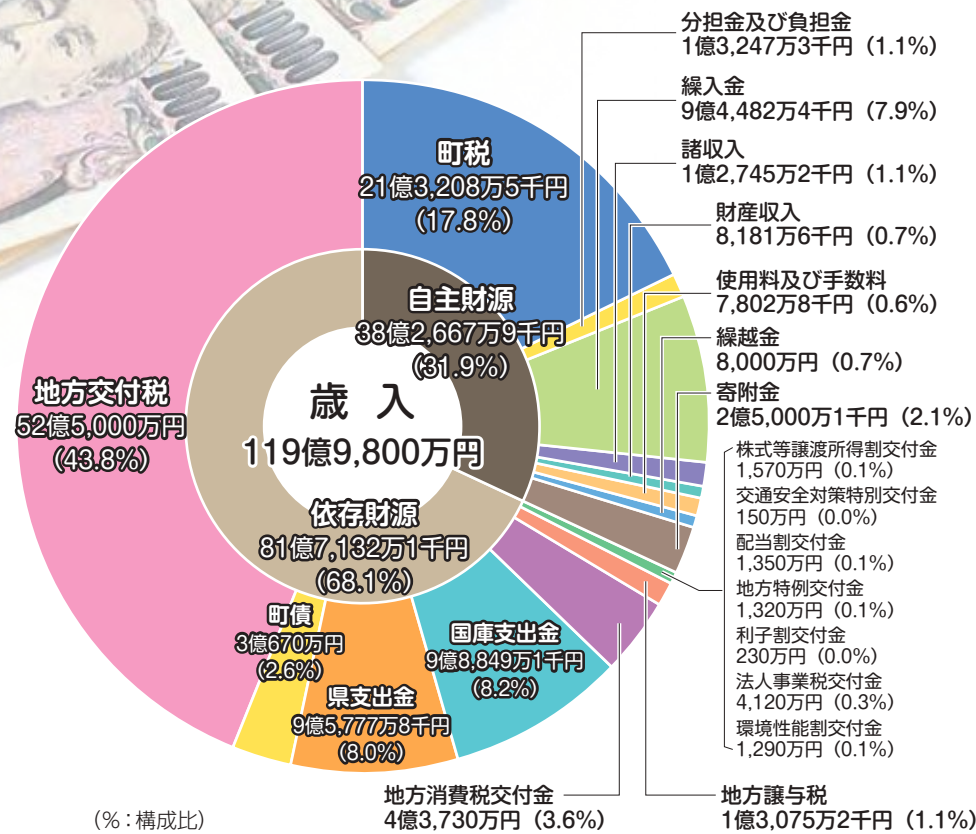
万円の減(0.5%減)となりました。

一般会計では、119億9,800万円で、町長選挙執行により骨格予算を編成した前年度当初予算に比べ2億9,800万円の増(2.5%増)となりました。その中でも、今年度は4つの重点施策に基づき、事業を進めていきます。

- ① 快適な住環境整備と充実した受け入れ体制による移住・定住の促進
- ② 結婚・出産・子育てへの包括的な支援の充実
- ③ 地域産業の担い手の確保・育成と定着に向けた環境整備
- ④ 魅力ある越前ブランドと新たな誘客戦略による観光の振興

主な事業は、4ページにまとめています。4つの重点施策のほか、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種実施など暮らしの安全・安心の確保や教育・生涯学習・福祉サービスの充実など、多様な行政課題や町民ニーズに的確に対応した施策を着実に展開していきます。

一般会計・歳入予算の内訳

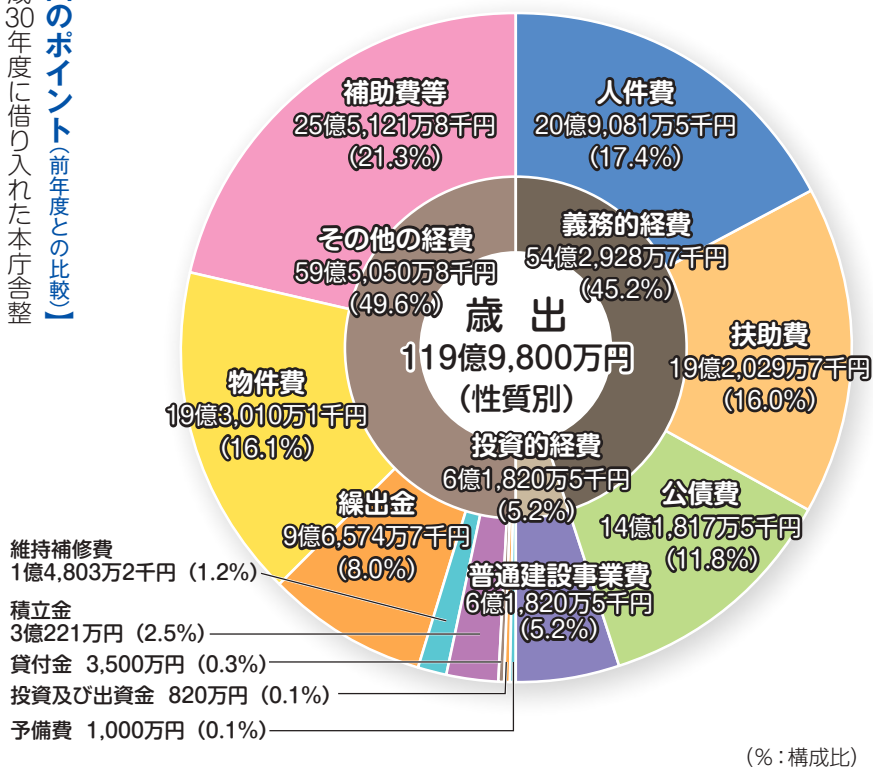


【歳入のポイント(前年度との比較)】

- 個人町民税の増などにより、町税が1億6,900万7千円の増
- 臨時財政対策債振替額の減により、地方交付税が3億5,000万円の増

- ふるさと再生寄附金の増により、寄附金が1億7,890万円の増
- 臨時財政対策債や天王川改修受委託料の完了に伴う社会資本整備総合交付金事業債(合併特例債)の減などにより、町債が3億660万円の減

一般会計・歳出予算の内訳



(%:構成比)

【歳出のポイント(前年度との比較)】

- 平成30年度に借り入れた本庁舎整備事業や令和元年度に借り入れた織田ケーブルテレビ施設更新事業の元金償還が開始されたことに伴い、公債費が1億3,832万円の増
- ふるさと納税の寄附件数の増加に伴い、積立金が1億8,489万円の増

- ふるさと納税の増による返礼品費用・送料などの増や、橋梁やトンネルなど道路構造物定期点検委託料の増により、物件費が1億945万5千円の増

会計名	令和4年度予算額 ①	令和3年度予算額 ②	増減額 ①-②=③	増減率(%) ③/②×100	
一般会計	119億9,800万円	117億円	2億9,800万円	2.5	
特別会計	国民健康保険事業	22億2,732万4千円	23億2,206万円	▲8,473万6千円	▲3.6
	介護保険事業	23億9,317万5千円	24億1,232万7千円	▲1,915万2千円	▲0.8
	後期高齢者医療事業	3億3,130万7千円	2億8,980万5千円	4,150万2千円	14.3
	簡易水道事業	3億8,666万4千円	3億7,860万9千円	805万5千円	2.1
	公共下水道事業	4億9,206万8千円	5億4,946万4千円	▲5,739万6千円	▲10.4
	集落排水事業	2億5,236万1千円	2億5,761万4千円	▲525万3千円	▲2.0
	温泉事業	3,335万6千円	1,652万9千円	1,682万7千円	101.8
	農林漁業体験学習館事業	2,508万4千円	2,489万9千円	18万5千円	0.7
	土地区画整理事業	3万7千円	847万4千円	▲843万7千円	▲99.6
	小計	61億5,137万6千円	62億5,978万1千円	▲1億840万5千円	▲1.7
事業会計	上水道事業	3億9,457万1千円	4億3,305万5千円	▲3,848万4千円	▲8.9
	国民健康保険病院事業	3億2,710万8千円	5億7,713万9千円	▲2億5,003万1千円	▲43.3
	小計	7億2,167万9千円	10億1,019万4千円	▲2億8,851万5千円	▲28.6
合計	188億7,105万5千円	189億6,997万5千円	▲9,892万円	▲0.5	

主な事業

快適な住環境整備と充実した受け入れ体制による移住・定住の促進

● 移住定住の促進

移住定住の促進のため、新築住宅に係る工事費の一部を助成（住宅新築・町内業者施工・町産材使用などにより加算助成）します。

〔3,000万円〕

● 公共交通の利用促進

従来のコミュニティバスのうち5路線を廃止し、新たにデマンドタクシー運行を開始します。

〔2,159万4千円〕

● 冬期間の安全な道路交通の確保

除雪機械の管理や除雪作業の委託を実施するほか、新たに除雪車を購入し、冬期間の安全な道路交通の確保に努めます。また、除雪車位置情報システムを導入し、除雪状況の適切な把握に努めます。

〔1億2,035万4千円〕

結婚・出産・子育てへの包括的な支援の充実

● 次世代を担う子どもの健全育成

次世代を担う子どもへの健全育成と町で安心して生み育てられる環境づくりに役立ててもらうため、出産育児金を給付します。

〔1,170万円〕

● 地域医療の推進

織田病院において、計画的な医療機器の更新を行うため、経年劣化している洗浄器や上部内視鏡、マンモグラフィなどの医療機器を更新します。

〔3,233万2千円〕

● 学校ICT環境整備計画に基づいた教育の推進

教育の情報化が加速する中、ICTを活用した授業改善等を行う専門スタッフ（ICT支援員等）を配置し、質の高い授業を提供します。

〔748万8千円〕

● 学校給食の一部無償化

子育て世帯の負担を軽減するため、町内の小中学校の給食費の一部（3学期分）を無償化します。

〔2,024万9千円〕

地域産業の担い手の確保・育成と定着に向けた環境整備

● ふるさと越前町の振興

ふるさと越前町を応援したい人や越前町の実施するさまざまな施策を応援していただける人から、ふるさと納税という形で寄附をいただき、応援いただいた人に地元特産品などを送付して、地場産品の振興を図ります。

〔7,500万円〕

● 農業の振興

認定農業者や集落営農組織に園芸産地育成や水田農業規模拡大および儲かる農業経営の支援のため、農業機械の導入や、越前水仙の安定した球根供給の取組などに補助します。

〔1,377万3千円〕

● 越前焼の継承および振興

「職人塾（実技研修）」を開設し、越前焼の技術継承や作陶を志す塾生を支援します。また、職人塾修了生の独立創業と地元定着を支援するため、開業する際の投資資金の一部を助成します。

北陸新幹線の県内開業に向け、越前焼の利用・販路の拡大に取り組むとともに、越前焼産地の振興を図ります。

〔1,580万1千円〕

魅力ある越前ブランドと新たな誘客戦略による観光の振興

● 重要文化的景観の保存継承

重要文化的景観として国の指定を受けた「越前海岸の水仙畑 上岬の文化的景観」を、隣接市町と連携しながら保存・活用活動を実施し、観光・交流人口の増加を図ります。

〔230万9千円〕

● 北陸新幹線開業を見据えた受入れ環境の整備

北陸新幹線開業を見据え、増加する観光客などの新たな宿泊需要に対応するため、宿泊施設事業者が行う施設改修等を支援し、受け入れ環境を整備します。

〔3,533万3千円〕

● 行政のデジタル化の推進

住民の利便性の向上を図るため、役場ホームページでのWeb問い合わせに対応しスムーズな対応ができるよう、自動的に答えるチャットボットを導入します。

〔102万5千円〕

問合せ先 財政課 ☎3418711

わたしたちのまちの予算



福井県政功労者知事表彰を受賞しました

県では、毎年「ふるさとの日」（2月7日）に合わせて、地方自治の振興および社会福祉・産業・教育・文化などの発展に貢献した人に対する表彰を行っています。今年も町内から次の3人が表彰されました。

自治振興功労者

吉村 春男さん（元越前町議会議員）

産業振興功労者

福岡 啓一さん（元越前町商工会会長）

教育文化功労者

上野 重隆さん

（元福井県子ども会育成連合会副会長）
なお、上野さんは長年の町子ども会育成連絡協議会会長の功績に対する全国子ども会連合会表彰も受賞されました。



▲吉村さん（左）、福岡さん（中央右）、上野さん（右）

「体じやわっしょいおしごと」は2回の展示を行いました

新型コロナウイルス感染症の影響により自宅で食事をする機会が増える中、2月15日から3月4日まで町立図書館宮崎分館において食生活改善コーナーを設置しました。町食生活改善推進員、町栄養士、図書館司書が連携し、野菜たっぷりレシピ、減塩食品、健康に関する本の紹介を行いました。来館者からは、毎日の食事を直すきっかけになったとの声があり生活習慣の改善に向け、がんばりたいと話していました。



▲食生活改善コーナー

農林水産業従事者単身用住宅が完成しました

2月、越前地区厨地係に農林水産業従事者単身用住宅「ラ・クリヤ」が完成しました。この施設は、町内で農林水産業に従事する若手人材の確保および定住促進と生活の安定を目的に、一定期間の入居施設として貸し出されます。本年度からは、次世代の担い手を育成する水産カレッジ生などの卒業生を受け入れます。



▲ラ・クリヤ（木造平屋建）

第48回天王川美化運動を実施しました

3月20日、朝日地区の河川周辺で、第48回天王川美化運動が行われました。メイン会場となる天王川流域では、近隣集落のみならずゴミ拾いや草刈りに汗を流しました。

この活動を始めた頃から比べると、捨てられているゴミの量は減っているものの、空き缶や空きびんなど、大量のゴミが集まりました。美しい景観、住みよい環境を作るために、ゴミの投棄は絶対にやめましょう。



▲多くの人に参加していただきました